

キリンググループ 2015年12月期第1四半期決算

2015年4月30日
キリンホールディングス株式会社

- **通期計画達成に向けて順調な進捗**
- **最優先課題の国内ビール類は販売計画を上回る進捗、お客様支持率向上に向けて好発進**
- **ブラジルキリンは、販売数量は減少するも、単価効果、コスト効率向上により、対前年増益を確保**
- **企業結合会計の早期適用に伴うのれん償却額減少により、通期業績予想を修正**

1 Q連結業績

売上高、営業利益、経常利益が対前年で減少したが、通期計画達成に向けて順調な進捗

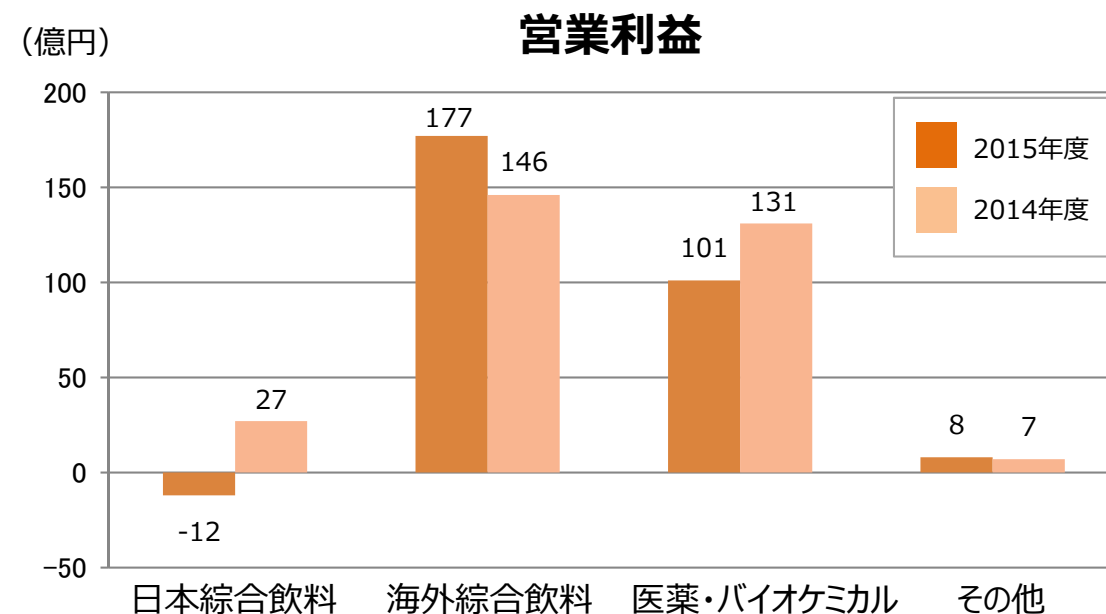
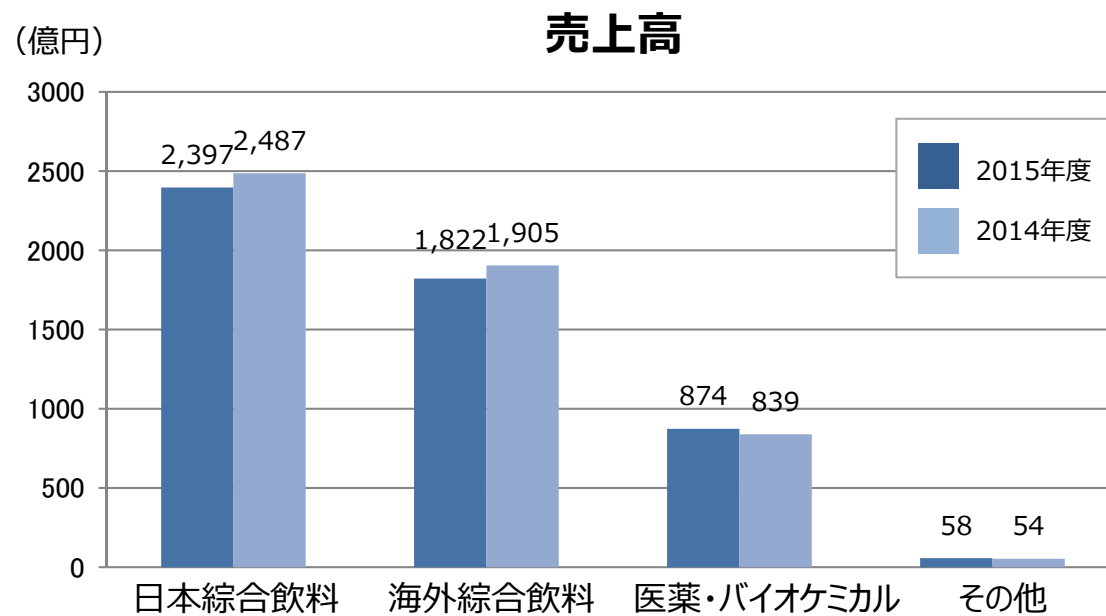
(億円)	2015年	2014年	対前年増減	
売上高	5,152	5,287	△134	△2.5%
営業利益 ※	262	300	△37	△12.6%
経常利益 ※	256	285	△29	△10.4%
四半期純利益 ※	133	111	22	20.5%

※ 2015年度は、2014年度に対し企業結合会計適用によりのれん償却額57億円が減少（P 1 6を参照）

平準化EBITDA ※※	560	664	△104	△15.7%
平準化EPS（円） ※※	25	30	△5	△16.7%

※※ 明細はP 1 0を参照

1 Qセグメント別概況



日本総合飲料

- ・消費増税前駆け込み需要を取り込んだ前年に比べ、減収減益
- ・麒麟ビールは、主力ブランド強化、機能系カテゴリー販売強化により、概ね計画どおりの進捗
- ・麒麟ビバレッジは、炭酸カテゴリー拡大により、売上高が増加

海外総合飲料

ライオン

- ・対前年減収ながら、飲料事業が再生計画の効果により増益し、のれん等償却後営業利益で増益を確保
- ・全体としてほぼ計画どおり

ブラジル麒麟

- ・販売数量減少により減収ながら、単価アップ、販売費の効率的使用により増益
- ・通期利益計画に対して順調

医薬・バイオケミカル

- ・新薬が順調に売上高を伸ばし、増収
- ・研究開発費の増加等により減益となるも、計画どおりの進捗

ビール類

機能系カテゴリー拡大にスピーディーに対応
ビール類全体でも計画を上回る販売数量
(対前年 $\triangle 8\%$)

※5社ビール類課税移出数量： $\triangle 9\%$



清涼飲料

炭酸カテゴリーでのプレゼンス向上に成果
消費税率増税前駆け込み需要の反動で市場が
縮小する中、清涼飲料全体で前年並みを維持
(対前年 $+0\%$)



2Q以降の取り組み

- 顧客接点拡大によるビール類
主力ブランド強化
- 清涼飲料基盤ブランド強化、
炭酸カテゴリーにおける「メッツ」ブランドの
確固たるポジション確立



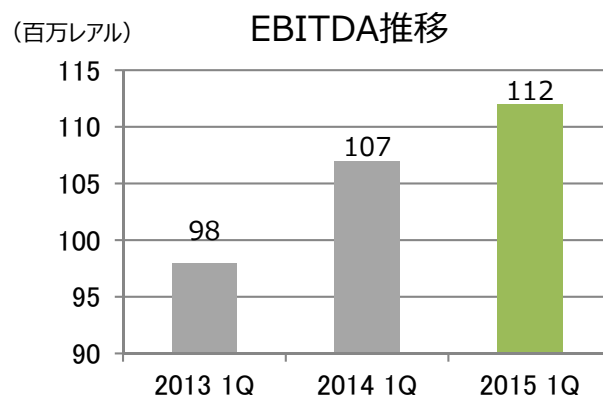
「のどごし＜青空小麦＞」発売



「メッツ」新フレーバーと
自販機用400mLPET

販売数量が減少するも、単価効果、コスト効率の向上により、計画どおりのEBITDAを創出

- 収益性の高いチャネル・商品の販売に注力
- 取引条件の適正化を推進
- 販売費の効率的な使用を徹底



2 Q以降の取り組み

- 収益性の高いチャネル・商品の販売を引き続き強化することにより、収益力の向上と販売トレンドの回復を図る
- 単価アップ、販売費の効率的な使用を継続する
- 中期的視点で、営業スタッフの販売力強化、販売網強化等の施策を進める



- ・ 企業結合会計の早期適用に伴うのれん償却額の減少により、通期業績予想を修正する
- ・ 売上高、平準化EBITDA、平準化EPSへの影響はない

(億円)	通期業績予想		差異	対前年増減	
	1Q修正	年初			
売上高	22,700	22,700	—	742	3.4%
営業利益	1,390	1,170	220	244	21.3%
日本総合飲料	400	380	20	△81	△17.0%
海外総合飲料	580	385	195	267	85.6%
医薬・バイオケミカル	450	445	5	61	15.7%
経常利益	1,220	1,000	220	277	29.5%
当期純利益	620	400	220	296	91.4%

(定量目標)

平準化 E B I T D A	2,760	2,760	—	28	1.0%
平準化 E P S (円)	121	121	—	3	2.5%

KIRIN

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.

Appendix

(平準化EBITDA)

(億円)	2015年目標		2015年1Q (実績)	2014年1Q (実績)
	(1Q)	(年初)		
営業利益	1,390	1,170	262	300
減価償却費	970	970	226	219
のれん償却額	290	510	71	121
持分法適用関連会社からの受取配当金	112	112	—	23
平準化EBITDA	2,760	2,760	560	664

(平準化EPS)

(億円)	2015年目標		2015年1Q (実績)	2014年1Q (実績)
	(1Q)	(年初)		
四半期純利益	620	400	133	111
のれん等償却額	469	689	116	165
税金等調整後特別損益	14	14	△24	5
平準化当期純利益 ①	1,103	1,103	225	281
期中平均株式数(千株)②	912,543	912,547	912,544	929,321
平準化EPS (円) ①÷②	121	121	25	30

日本綜合飲料事業 1 Q業績明細

KIRIN

億円	2015年	2014年	対前年増減	
売上高	2,397	2,487	△90	△3.6%
麒麟ビール	1,418	1,519	△100	△6.6%
麒麟ビバレッジ	730	722	8	1.2%
メルシャン	153	158	△5	△3.3%
その他・内部取引消去	94	87	6	7.6%
営業利益	△12	27	△40	—
麒麟ビール ※1	68	98	△29	△30.2%
麒麟ビバレッジ ※1	△28	△19	△8	—
メルシャン ※1	△1	1	△2	—
その他 ※2	△52	△47	△4	—
計		32		
のれん償却額 ※3	—	△4	4	—

■営業利益 対前年増減

麒麟ビール	億円
酒類限界利益	△37
原材料コスト	1
販売費	△11
その他	18
計	△29

麒麟ビバレッジ	億円
数量差異	0
原材料等コスト	4
容器構成差異等	3
販売費	△14
その他	0
計	△8

※1 2015年度より持株会社へのマネジメントフィ控除前にて表示（2014年度実績も組み替えて表示）

※2 持株会社の費用及びその他構成会社の損益を含む

※3 2015年度から、企業結合会計適用により のれん償却額が減少

	ビール類	R T D	ワイン	清涼飲料
2015年1Q 販売数量 対前年増減	△8%	+10%	△5%	+0%

	2015年		2014年		対前年増減		対前年増減 (%)	
	億円	百万AUD	億円	百万AUD	億円	百万AUD	円ベース	AUDベース
売上高	1,328	1,350	1,346	1,443	△18	△93	△1.4	△6.5
酒類	792	805	783	839	9	△34	1.2	△4.1
飲料	536	544	563	604	△27	△59	△4.9	△9.9
のれん等償却前営業利益 ※1	217	221	236	253	△18	△32	△8.0	△12.8
酒類 ※1	212	216	236	253	△23	△37	△9.9	△14.6
飲料 ※1	12	13	7	8	5	4	70.4	61.6
本社 ※1	△8	△8	△7	△7	△0	△0		
のれん償却額 ※2	△32	△32	△77	△82	44	50		
ブランド償却額	△9	△10	△10	△10	0	0		
営業利益 ※2	175	178	149	159	26	18	17.6	11.5

連結期間：2014年10月～12月 為替レート：98.42円（前年同期：93.31円）

※1 2014年度実績の事業別内訳は、2015年度本社費用賦課ルールの変更を反映

※2 2015年度は、2014年度に対し企業結合会計適用によりのれん償却額が減少

■ 販売数量増減

	対前年 (%)
酒類	△4.8
飲料	△18.7

■ のれん等償却前営業利益増減明細

百万AUD	酒類	飲料
2014年実績	253	8
販売数量増減	△21	△9
その他	△15	14
2015年実績	216	13

	2015年		2014年		対前年増減		対前年増減 (%)	
	億円	百万リアル	億円	百万リアル	億円	百万リアル	円ベース	リアルベース
売上高	390	949	468	1,068	△78	△119	△16.8	△11.2
のれん等償却前営業利益	17	42	16	38	0	3	3.3	10.2
のれん償却額	△12	△29	△13	△29	0	0		
ブランド償却額	△7	△17	△7	△17	0	—		
営業利益	△1	△4	△3	△8	1	4	—	—
E B I T D A	46	112	46	107	0	4	0.0	4.5

連結期間：2015年1月～3月 為替レート：41.11円（前年同期：43.86円）

■ 販売数量増減

	対前年 (%)
ビール	△24.9
清涼飲料	△25.7
合計	△25.2

<参考> 市場動向（S I C O B E）

- ・ビール : 対前年 △4.0%
- ・飲料 : 対前年 △5.4%

- 粗利の増加（+\$R11MM）：
 - ①値上げによる単価アップ
 - ②サプライチェーン合理化による製造原価の減少
- 販売費及び一般管理費の増加（△\$R7MM）：
 - ①効率的使用による販売費減少
 - ②その他一般管理費の増加

億円	2015年	2014年	対前年増減	
売上高	874	839	34	4.2%
協和発酵キリン	895	860	35	4.1%
医薬	678	628	49	7.9%
バイオケミカル	217	231	△14	△6.2%
その他・内部取引消去	△21	△20	△0	—
営業利益	101	131	△29	△22.8%
協和発酵キリン	101	131	△29	△22.8%
医薬	77	94	△16	△17.5%
バイオケミカル	14	30	△15	△52.2%
その他・のれん償却額消去	24	21	2	10.6%
のれん償却額	△15	△15	0	—

改正された「企業結合に関する会計基準」を2015年度から早期適用することに伴い、のれん未償却残高が一部減少する

(概要)

	会計基準適用前	会計基準適用後
既に子会社であった会社の株式を追加取得した際、取得対価と取得関連費用の合計と、増加持分との差額	のれん (資産に計上)	資本剰余金 (純資産にマイナス計上)

(のれん償却額通期予想の修正)

(億円)		のれん償却額			のれん未償却残高		
		年初予想	修正予想	差異	年初	修正	差異
連結子会社	ライオン	320	126	△194	3,544	1,402	△2,142
	麒麟ビバレッジ	19	—	△19	210	—	△210
	協和醗酵麒麟	62	57	△5	761	752	△9
	ブラジル麒麟	54	53	△0	873	863	△10
	その他	53	53	△0	—	—	—
	連結子会社計	510	290	△220			

※ブランド償却額への影響はない

第1四半期決算及び通期業績予想への影響

KIRIN

のれん償却額が減少する分、四半期及び通期の営業利益、経常利益、純利益への影響が発生

(セグメント別のれん償却額)

(億円)	1 Q (実績)			通期 (予想)		
	適用前	適用後	差異	適用前	適用後	差異
日本総合飲料	6	0	△5	24	4	△20
海外総合飲料	95	45	△49	381	186	△195
ライオン	81	32	△49	320	126	△194
ブラジルキリン	12	12	△0	54	53	△0
その他	1	1	△0	6	5	△0
医薬・バイオケミカル	27	25	△1	104	99	△5
合計	128	71	△57	510	290	△220